

平成28年度の学校自己評価アンケートの集計結果について(報告)

本校の教育活動について皆様のご意見をお聞きしまして、今後の教育活動に生かすことを目的にアンケートを実施いたしました。保護者の皆様、施設職員の皆様にご協力いただき大変ありがとうございました。回答状況は以下の通りです。

アンケート期間(10月17日<高2・3のみ7日>~11月16日)			
保護者	92名	施設職員	12名

集計にあたっては、アンケートの記入項目の「A:よくできている」と「B:まあできている」を合わせて積極的評価、「C:あまりできていない」と「D:全くできていない」を合わせてマイナス評価ととらえています。今年度の保護者・施設職員の方の集計結果につきましては、学校ホームページにも年度末に公開します。

保護者・施設職員の集計結果から昨年度と比較して変化がみられたものは以下の通りです。

(1) 昨年度と比較して積極的評価の割合が高くなった項目		
保護者	⑭ 学年や学部が変わっても、引き継ぎができています。	(78%→89%)
	⑱ 学校は、必要に応じて医療、労働、福祉などの関係機関と連携していて、必要な情報の共有ができています。	(84%→93%)
施設職員	⑭ 学年や学部が変わっても、引き継ぎができています。	(76%→92%)

(2) 積極的評価が下がり、マイナス評価の%値が高まった項目		
保護者	⑨ コンピューターを積極的に活用するなど、子どもの興味関心をよくつかんで指導をしている。	(94%→84%)
施設職員	⑫ 健康や命の大切さ、事故やけがの予防などについて指導している。	(94%→75%)
	⑬ 5月実施の運動会をはじめ、修学旅行、宿泊学習、西支援祭などの行事の時期や内容はよい。	(94%→58%)

上記の学校自己評価の集計結果から、来年度の取り組みの中で、以下のことを重点に改善及び充実を図っていきます。

⑨ 「コンピューターを積極的に活用するなど、子どもの興味関心をよくつかんで指導をしている。」	<教職員 95% ↔ 保護者 84%>
⑬ 「5月実施の運動会をはじめ、修学旅行、宿泊学習、西支援祭などの行事の時期や内容はよい。」	<教職員 94% ↔ 施設職員 58%>

具体的な方針として、

- 児童生徒が興味を持っているタブレット端末やパソコンを活用した授業の充実に取り組んだり、実際の生活に即した内容を取り上げ、体験的な学習を通して児童生徒の興味関心を拡げる学習を展開したりしていきます。
- 春開催の運動会をはじめ西支援祭など、大きな学校行事への取り組みに不安を見せる児童生徒の様子に戸惑われている方も多く、できることは今年度から行事に向けた支援の仕方を私たちも工夫し、児童生徒の負担感を減らしていきたいと思えます。また、この時期の生活全般についても保護者・施設職員の方々により一層の共通理解を図っていきます。

